

地域医療連携室

1. スタッフ構成

- 二宮 朋之;地域医療連携室長
- 井上 武;地域医療連携室副室長
- 椿 崇仁;地域医療連携室副室長
- 越智 祐二郎;地域医療連携室長補佐

<医療相談職員>

【看護部】

- 箱岡 由香(看護長)、濱田 由香、上野 理江、季羽 勝栄、
宮本 和可、渋谷 純子、西田 舞衣、近藤 由香、
塩出 美奈子

【社会福祉士】

- 石山 久司、松田 まどか、井上 由美、小笠原 佑記、
片岡 政輝、宮本 果野子、吉村 真紀

<事務局>

- 山本 亜衣、三好 旭

2. 運営方針

愛媛県における円滑な医療の推進に寄与するため、地域医療連携の拡充に向けて活動を行っています。地域医療支援病院として、地域医療機関との連携を推進するとともに、県民の安心の拠り所となる病院を目指し、愛媛県の医療水準の向上に貢献できるよう、地域の医療機関ならびに介護施設等とのさらなる連携を進めています。

3. 実績

<業務内容>

- (1) 紹介患者の受付・予約(FAXによる受付)
 - ・ 紹介患者(地域医療機関からの紹介患者)の受付・登録・予約
 - ・ 逆紹介患者(地域医療機関への紹介患者)の医療情報の送付
 - ・ セカンドオピニオンの予約・調整
- (2) 高額医療機器検査の受付・予約
 - ・ 紹介患者のCT、MRI、RIの受付・登録・予約
 - ・ PET-CTの受付・登録・予約
- (3) 医療相談
 - ・ 逆紹介患者に対する医療相談
 - ・ 現入院・外来患者に対する医療相談
- (4) 医療情報等の地域医療機関への提供、情報発信
 - ・ 各種勉強会等の案内
 - ・ 医師会との連携
 - ・ 病院・診療所訪問
- (5) がん相談および支援
 - ・ がんに関する相談

・ 広報活動

主な業務内容は、紹介患者の受付・予約(FAXによる受付)、高額医療機器検査の受付・予約、転院や退院支援に関する医療相談、がん相談、医療情報等の地域医療機関への提供などです。協議案件については、地域医療連携室のスタッフでカンファレンスを行い、対応を決めています。

かかりつけ医が患者さんを紹介しやすい体制づくりを目指して、外来担当医の予約枠に地域医療連携室事前予約優先枠を設け、診療日時の予約の取得と紹介元への返信の迅速化に努めています。

紹介患者数は年間 25,000 件を超えています。地区別では、松山市内の医療機関のみならず、他の地区からも数多くのご紹介をいただいています。

■ 診療科別紹介元地区別件数

診療科	患者数	中予		東予	南予	県外
		松山市	松山市以外			
麻酔科	4	4	0	0	0	0
救急科	179	125	18	20	16	0
産婦人科	1,689	1,257	76	104	151	101
新生児内科	58	36	6	8	4	4
小児科	1,116	865	142	29	46	34
小児外科	248	198	15	14	15	6
糖尿病・内分泌内科	509	353	81	8	30	37
腎臓内科	617	404	118	31	49	15
泌尿器科	1,445	1,124	182	46	73	20
腎移植外来	110	61	8	27	12	2
消化器内科	3,275	2,396	472	87	271	49
消化器外科	1,161	776	154	51	158	22
血液内科	518	286	51	99	64	18
呼吸器内科	92	46	3	12	28	3
感染症内科	52	40	6	4	2	0
呼吸器外科	1,515	1,035	201	93	158	28
乳腺・内分泌外科	786	633	50	32	56	15
放射線科	1,443	1,051	118	25	247	2
脳神経内科	675	477	104	18	60	16
脳神経外科	858	553	153	51	78	23
循環器内科	1,773	1,196	294	117	133	33
心臓血管外科	607	334	76	51	138	8
総合診療科	764	554	123	25	53	9
整形外科	1,939	1,286	396	106	124	27
形成外科	594	479	43	29	23	20
皮膚科	516	395	58	25	29	9
眼科	793	489	104	28	160	12
耳鼻咽喉科	977	704	152	43	55	23
精神科	15	7	4	2	2	0
漢方内科	80	51	14	9	2	4

歯科・口腔外科	1,036	757	227	10	34	8
合計	25,444	17,972	3,449	1,204	2,271	548

CT、MRI、PET-CT等、高額医療機器の利用は年間約1,400件となっています。2020年からCOVID-19の影響により紹介患者数が減少していましたが、2022年は回復傾向です。

■ 紹介件数

	2019	2020	2021	2022
各科合計	28,041	23,395	22,429	24,013
放射線科	1,427	1,320	1,357	1,431

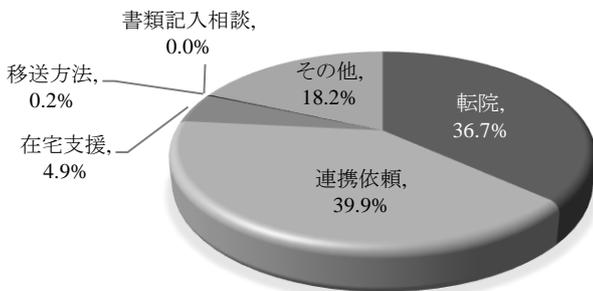
■ 放射線科紹介件数内訳(2022年)

	件数
PET	391
CT	561
MRI	461
RI	16
その他	2
合計	1,431

医療相談では、退院、転院に関することが多くを占め、次に転院先の調整や連携依頼、在宅医療の依頼等が挙げられます。

■ 医療相談介入件数および主たる相談内容

相談内容	件数
転院	1,626
連携依頼	1,765
在宅支援	219
移送方法	8
書類記入相談	2
その他	806
合計	4,426



医療連携では、顔の見える連携を目指し、病院訪問も継続的に行っていましたが、2020年度後半以降、コロナ禍の影響で訪問のできない状況が続いていました。2021年度よりWebにて地域連携室間の面談を行い、2022年12月から病院訪問を再開しています。

基幹病院としての役割を果たすために、情報発信を目的に医療連携懇話会(学術講演会)をハイブリット形式で開催しています。

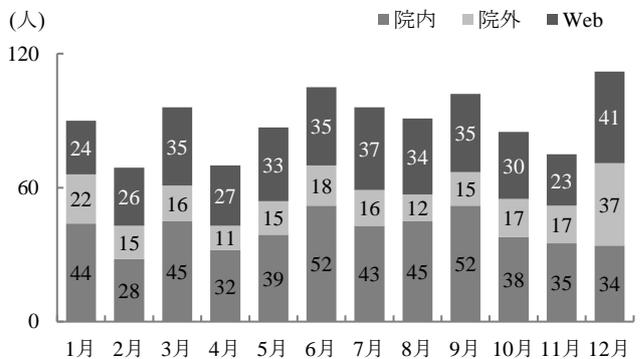
メール登録者の方々には、6か月の期間限定でYouTube愛媛県公式チャンネルにて動画を公開しています。

■ 医療連携懇話会

	演者	テーマ
第110回 1月12日 19:00~20:10	麻酔科、漢方内科	新春記念講演会

第111回 2月9日 19:00~20:10	総合診療科、循環器内科	愛媛の循環器診療～温故知新
第112回 3月9日 19:00~20:10	脳神経内科、脳神経外科、放射線科	脳神経疾患診療 update 2022
第113回 4月13日 19:00~20:00	総合診療科、医療ソーシャルワーカー	高齢者と向き合う医療
第114回 5月11日 19:00~20:10	血液内科、看護師	日常診療で遭遇する血液疾患(専門科への紹介とフォローのポイントについて)
第115回 6月8日 19:00~20:20	全診療科	県病院をまるごとご紹介します
第116回 7月13日 19:00~20:00	消化器内科、消化器外科、薬剤部、栄養部	多職種で診る”胆道・膵癌”へのアプローチ
第117回 8月10日 19:00~20:10	呼吸器内科、地域連携室、いろはホームケアクリニック、あおぞらの里森松ケアプランセンター	病状の悪化が予測される中、患者・家族のより良い療養の在り方を共に考える～意思決定支援にどうかかわるか～
第118回 9月14日 19:00~20:00	脳神経外科、整形外科、リハビリテーション部、臨床工学部	脊椎脊髓センター開設にあたって
第119回 10月12日 19:00~20:00	脳神経内科、循環器内科、脳神経外科、リハビリテーション部	ブレインハートチームで脳卒中に挑む!
第120回 11月9日 19:00~20:00	消化器内科、消化器外科、臨床工学部	～知っておきたい IBD 診療～
第121回 12月14日 19:00~20:00	感染症内科、漢方内科、看護部	新型コロナとこれからの話

■ 医療連携懇話会参加人数



また、地域医療連携室発信の定期刊行物として「地域連携室便り」を毎月発行し、ホームページに掲載しています。

2021年11月より地域医療連携ネットワークシステム【媛さくらネット】を導入し運用を開始していますが、まだまだ周知が足りない現状です。広報の工夫と、閲覧可能な開示情報を拡大し、登録数の

増加を目指しています。

＜地域医療支援病院について＞

地域医療支援病院とは、医療施設機能の体系化の一環として、患者さんに身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施などを通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備などを有するものについて、都道府県知事が個別に承認する病院です。当院は 2010 年 10 月に認定され、地域医療支援病院の責務として次に挙げる事項について、地域の皆様方や医療機関に貢献できるよう支援しています。

2021 年度は、診療情報提供書および返書管理に力を入れており、システムを活用し返書率の向上に努めており、返書率は向上しております。また 2022 年度は地域医療機関への逆紹介を推進させるため、「かかりつけ医紹介カウンター」を試験的に設置し、2023 年度からの本格運用に取り組んでいます。

＜地域医療支援病院の責務＞

- (1) 紹介患者に対する医療の提供
- (2) 紹介患者の診療と逆紹介
 - ・ 開放型病床の利用
- (3) 医療機器の共同利用の実施
 - ・ CT、MRI、PET-CT等医療機器の利用
- (4) 救急医療の提供
- (5) 地域の医療従事者に対する研修の実施
 - ・ 年間を通じた研修会、勉強会の実施と案内

4. 2023 年度目標

- (1) 地域連携ネットワークシステム【媛さくらネット】の周知・活用
- (2) 顔のみえる連携強化
- (3) 逆紹介の推進
- (4) がん相談支援活動の強化

地域医療連携ネットワークシステム【媛さくらネット】の活用によって、地域医療機関と適時、適切な情報共有ができるようになり、検査・投薬の重複を避けられ、医療費の負担削減につなげることができます。【媛さくらネット】を地域の医療機関に周知・活用を進めていきます。また、コロナ禍において構築したオンラインシステムを活用し、地域の方々とのカンファレンスの推進や病院訪問等に取り組むとともに、かかりつけ医紹介カウンター設置により、当院での専門的な治療が終了した患者さんは、地域の医療機関へ逆紹介する体制も整えていきます。がん相談支援センターの活動については、院内・院外への周知、相談者からのフィードバックを受け、相談支援の質向上につなげていきます。今後は、逆紹介を含む入院支援体制をさらに充実させ、地域医療機関との連携により紹介患者の受け入れについても、地域医療支援病院としての役割を果たしていきます。

5. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 濱田由香、二宮朋之、三木均、大矢根忍、塩出美奈子、コロナ禍におけ